



⑤アトリエで、新しい作品を制作中の渡邊さん。毎日、平均5～6時間はキャンパスに向かう ⑥日展洋画部門・特選受賞作品「懐郷」。親元を離れて暮らしている少女の、ふと浮かべた寂しさを表現した作品

●日展(日本美術展覧会):明治40年に創設された文展、帝展、日展と続く、日本を代表する美術展覧会の一つ。公募展の中では最高の権威を持ち、日本画と洋画、彫刻、工芸美術、書の5科がある。本年度は5科で13,919点の応募があり、特選50点、入選2,358点が選ばれた。



### 渡邊裕公さんが「日展」特選を受賞 第45回日展洋画部門

日本を代表する公募美術展覧会「日展」(日本美術展覧会)。本年度開催の第45回洋画部門で、渡邊裕公(本名・博明)さん(62)＝筒井＝が特選を受賞しました。全国2,136点の作品から10点だけ選ばれた特選。しかも、第43回に初の特選を果たした後、最短(特選後の次の回は、無審査として審査対象外)で2度目という快挙です。

現在、渡邊さんは愛光学園での勤務の傍ら、日展会友として寺坂公雄氏(日本芸術院会員)に師事し、「人物に始まり人物に終わる」という教えを胸に、一貫してごまかしのきかない人物画を描写。また、光風会評議員、同愛媛支部事務局長として県内を巡り、後進の育成にも努めています。

受賞作品「懐郷」は、ボールペンだけを使う独自の手法で描写した人物像。数千本のボールペンと無数の重なり合う線を駆使して、約4カ月をかけて生み出した大作です。審査では「的確な描写力で支えられている不思議な色面を醸しだしている」と評されました。

受賞の知らせに、渡邊さんは「驚きの方が先だった。ありがたい。(ボールペンという手法の)第一人者となり、いい作品を描き続けたい」と力強く話していました。



### 入選句決定 平成25年度松前町民俳句大会

松前町文化協会俳句部主催の「第34回町民俳句大会」は10月20日に開かれ、入選作品が決まりました。本年度は64句の応募がありました。

入選句は次のとおりです(敬称略)。

#### ▶町長賞

働くも憩ふも二人鱈雲 森川小夜子(大間)

#### ▶教育長賞

箸置きて本音切り出す温め酒 松原とく子(西古泉)

#### ▶文化協会会長賞

新薬やのそりと雄牛立ち上がる 二宮辰子(西古泉)

#### ▶優秀賞

かなかなと鳴きかなかなと去りにけり 石丸徳子(筒井)  
鯉飛んで河口逆波打ち返へす 大野まつ子(西古泉)  
薄衣にははの残り香かぞへ唄 吉見シナヨ(西古泉)  
また忘れまたまた忘れ老いの秋 町田京子(横田)  
秋の夜の男が架ける長電話 井門忠士(昌農内)  
羅を着て別人になりゐたる 富樫悦子(上高柳)  
海光のとどく段畑青蜜柑 中村葉子(西古泉)



④県教育文化賞のメダルを手にする藤岡さん



### 藤岡抱玉(千賀子)さんが受賞 平成25年度県教育文化賞

県教育委員会は10月30日、教育文化の向上発展に特に功績のあった個人や団体をたたえる平成25年度県教育文化賞を発表。藤岡抱玉(千賀子)さん＝北黒田＝が受賞しました。

藤岡さんは、昭和46年に書道会「玉星会」を主宰。愛媛女流書家連盟会長や県美術会理事を務め、書道の普及発展に尽くしました。また、国内だけでなく、中国やポルトガルでも書作展を開催。「交流の中で、改めて日本の伝統文化の素晴らしさを感じる」と、現地の書家と書を通じた交流も行うなど、国際的にも活躍しています。

受賞を受け、藤岡さんは「今までで1番大きな喜びです。伝統文化を後輩に受け継いでいくとともに、自身も努力を続けていきたい」と受賞の喜びと今後の抱負を笑顔で話していました。



### 伊方原発の事故を想定し訓練 愛媛県原子力防災広域避難訓練

福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、同様の事故が伊方原子力発電所で発生した場合を想定した、愛媛県原子力防災広域避難訓練が10月22日に行われました。

今回の訓練は、本年6月に策定された「愛媛県広域避難計画」を基に実施しました。訓練には、伊方原発から30キロ圏内の市町を中心に、地方公共機関なども含め80機関が参加。避難先の1つとなった松前公園体育館には避難所が設置され、伊方町と伊予市からヘリコプター、バスや自家用車で避難者がやって来ました。

避難所では、放射線のスクリーニング検査を行い、そのレベルに応じて除染や衣服の廃棄などの処置を行いました。その後、避難者一人一人に保健師が問診を行い、事故当時の状況や現在の状態などを聞き取り、健康相談を実施。その他、炊き出し訓練なども実施され、もしもの時に備え、参加者は防災への意識を高めました。



①放射線のスクリーニング検査。体の汚染状態をチェック  
②ヘリコプターで避難してきた避難者  
③健康相談の様子。体に異常がないか確認する



### 子どもたちが音楽で交流 2013まさきちよう児童生徒音楽発表交歓会

「町内音楽発表交歓会」は11月15日、松前総合文化センターで開催され、町立幼稚園、小・中学校、ひまわり少年少女合唱団、伊予高校吹奏楽部の皆さんが、多彩な演奏を披露しました。同交歓会は、音楽を通して交流を深めることを目的に毎年開催されているものです。

ステージでは、おそろいの衣装を着ての合唱や、音楽に合わせて楽器を揺らしながらの演奏など、おのおのが表現力豊かに日ごろの練習の成果を披露。観客を魅了しました。トリを飾った伊予高校吹奏楽部は、アンコールを含めて計4曲を演奏。みんなが知っている流行の曲が演奏されると、口ずさむ人の姿も見られるなど、会場一体となって音楽を楽しみました。

アンコール後は参加者と観客全員で「翼をください」を合唱。会場中にハーモニーが響き渡り、音楽での交流がより深いものとなっていました。



④松前小学校の金管バンド ⑤岡田中学校の混声三部合唱 ⑥ひまわり少年少女合唱団の合唱